

各学校は相談や支援の窓口として「教育相談コーディネーター」という役割の教員を置いています。ぜひご相談ください！



各学校の「教育相談コーディネーター」の役割

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| ①SC、SSWの周知と相談受付 | ⑤児童生徒や保護者、教職員の相談のニーズの把握 |
| ②気になる児童生徒についての検討会議の定期的開催 | ⑥「児童生徒支援シート」等の個別記録の管理 |
| ③児童生徒・保護者とSC、SSWとの連絡調整 | ⑦校内委員会やケース会議の定期的開催と運営 |
| ④教育相談活動に関するスケジュール等の計画・立案 | ⑧教育相談に関する校内研修の実施 |

全ての公立小・中・高・特別支援学校に配置

令和6年度の配置状況について

- SC（スクールカウンセラー）心理の専門家
→ 全ての公立小・中・高校及び特別支援学校をカバー
- SSW（スクールソーシャルワーカー）福祉の専門家
→ 全ての公立小・中・高校及び特別支援学校をカバー

では、どちらに相談すればいいの？

スクールカウンセラー

- いわゆるメンタル面のケア・個人の特性理解 等
→ 子ども自身をケアすれば前進しそうな状況
(メンタルヘルス、個人の内面、心理面の葛藤、
発達検査などによる自己理解など)

スクールソーシャルワーカー

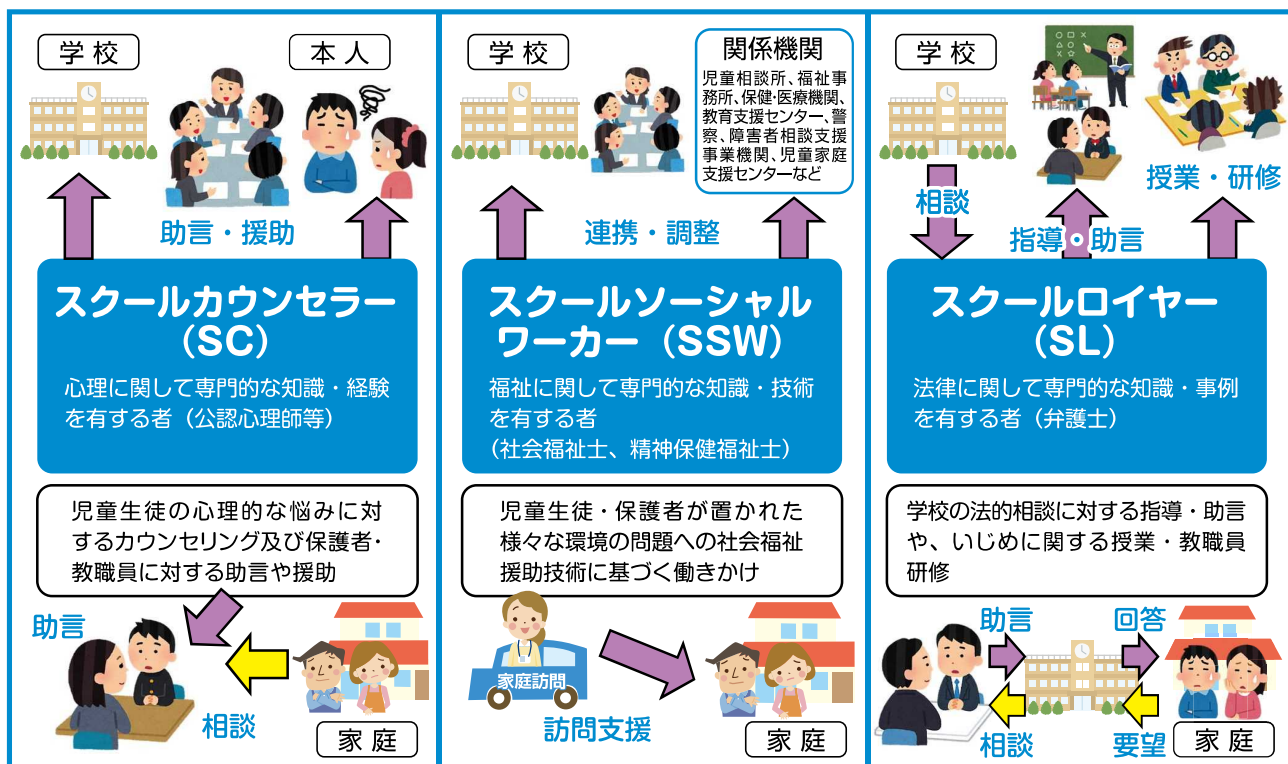
- 個人と周りの環境（家庭・学校・地域や医療・福祉等）との調整、仲介、代弁、助言、連携などを具体化
→ 子どもだけでは改善できない社会的・家庭の状況
(例：貧困、傷病、障がい、虐待、DV、社会不適応など)



「チーム学校」を支える専門スタッフ

学校における教育相談体制の充実に向けて

多様な社会的な背景により課題を抱える児童生徒に対する教育相談を充実していくためには、スクールカウンセラー（SC）やスクールソーシャルワーカー（SSW）の配置に加えて、スクールロイヤー（SL）など教員とは異なる専門性や経験を有する専門的なスタッフとともに専門性を発揮しながら、「チーム学校」として課題解決を目指しています。



スクールロイヤーは、学校の代理人ではなく、あくまでも学校と保護者の中立の立場で相談を受けます！